

腎臓から考える健康ライフ

— “新たな国民病”の早期発見から最新治療まで —

2026 年
3 月 22 日
(日曜日)

別名「沈黙の臓器」と呼ばれている腎臓は、病気が進行しても自覚症状が現れにくく、気づいた時には重症化している場合も少なくありません。近年、慢性腎臓病(CKD)と呼ばれる腎機能低下の状態が問題視されており、日本では成人の約 5 人に 1 人が該当する「新たな国民病」とわれています。

そこで今回、腎臓の健康を守るために日常生活で気を付けるポイントや、早期発見のための定期的な検査の重要性などを専門医がわかりやすく解説します。ご自身の健康管理や大切なご家族・友人のためにも、ぜひこの機会に腎臓ケアと慢性腎臓病(CKD)について学んでみませんか？

司会：丸山 彰一

(名古屋大学医学部附属病院腎臓内科・教授、病院長)

13 : 30～13 : 50

「腎臓のはたらきと慢性腎臓病について」

講師：小杉 智規 (名古屋大学医学部附属病院腎臓内科・特命教授)

13 : 50～14 : 10

「腎臓病の最新治療について」

講師：坪井 直毅 (藤田医科大学医学部腎臓内科学・教授)

14 : 10～14 : 30

「腎不全と言われたら：腎代替療法について」

講師：武田 朝美 (増子記念病院 腎臓内科・部長)

14 : 30～14 : 50 休憩

14 : 50～15 : 10

「減塩の工夫 -調味料と香辛料の使い方-」

講師：山本 来夢 (名古屋大学医学部附属病院 栄養管理部・管理栄養士)

15 : 10～15 : 30

「腎臓を守る運動療法」

講師：小関 裕二 (増子記念病院 リハビリテーション課・課長)



愛知県芸術文化センター12 階
アートスペース A
(催事室 A)



名古屋大学医学部附属病
院腎臓内科
<https://www.nagoya-kidney.jp/home>

藤田医科大学病院
腎臓内科
<https://www.nephrology-fujita.jp/>

愛知医科大学病院
腎臓・リウマチ膠原病内科
<https://www.aichi-med-u.ac.jp/su06/su0607/su060703/08.html>

主催：名古屋大学医学部附属病院腎臓内科、藤田医科大学病院腎臓内科、愛知医科大学病院腎臓・リウマチ膠原病内科／共催：NPO 法人名古屋腎臓病克服総合フォーラム／後援：厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業「難治性腎障害に関する調査研究」班、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業「小児腎領域の希少・難治性疾患群の全国診療・研究体制の構築」、厚生労働科学研究費補助金腎疾患政策研究事業「腎疾患対策検討会報告書に基づく慢性腎臓病 (CKD) に対する地域における診療連携体制構築の推進に資する研究」、NPO 法人日本腎臓病協会